

COLUMN: 先生紹介 ▶ 岡田 創貴(今津教室)

人との出会いで人生は変わる



皆さん初めまして、今年の3月から今津教室に所属しています岡田創貴です。今は京都産業大学の生命化学部に通っています。理科が得意なので理科の質問ならいつでもお待ちしています！僕は中学生の頃は今福教室で、高校生の頃はカイチ予備校でお世話になりました。今先生として働かせていただいています。今日は『人との出会い』についてお話ししたいと思います。

皆さんは『人との出会い』について深く考えたことはありますか？学校の先生、友達、部活の先輩などいろんな人との出会いがあります。人と出会うことで人生が大きく変わることもあります。僕自身あ

る先生との出会いが人生を大きく変えてくれました。それは川西先生の存在です。川西先生には中学1年生の頃からお世話になり特に中学3年生の時には大変お世話になりました。当時サッカー部に所属していた僕は中学3年生時の夏期講習に半分いけるかどうかというほど部活で忙しくしていました。そんな中、川西先生が『お前さん夏は引退試合とかで忙しいやろうから8月以降本気で勉強し！』と一声かけてくれました。そんな何気ない一言に僕はすごく励まされ8月以降ほぼ毎日自習に行き、川西先生も毎日『調子はどう？いける？』など声をかけてくれました。その成果があったのか10月の学校の実力テストでは6月に受けた実力テストから70点近く点数が上がり五ツ木模試の偏差値も7以上上がりました。川西先生も『この調子でがんばっていき！』と励ましの

声をかけてくださいました。そんな日々の努力と川西先生の応援もあり見事志望校に合格することができました。本当に川西先生には頭が上がりません。

カイチにはもちろん成績を上げるということは当然ですが、成績を上げる以外にも『生徒一人一人と真剣に向き合う』そういった先生がたくさんいます。いろんな人と出会いその出会いを大切にしてください。僕は川西先生と出会い大きく人生が変わりました。皆さんはどの先生でしょうか、カイチにはみなさんを変えてくれる先生がたくさんいると思います。きっと、みなさんも大きく人生が変わると思います。

今度は僕が先生としてみなさんの支えとなるように頑張っていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。

対島のちよつと イイ話

TEACHER'S VOICE 対島 広史(カイチ予備校、エングマ)

大学入試に役立つそろばん

そろばんは大学入試で役立つ？

東大生がやっていた習い事ランキングに常に上位に入り、「計算速いから大学受験でも有利」と言われるそろばん。「そろばんをやっておくと、大学受験で得する」というのは本当でしょうか。

大学受験指導をさせていただいて長いのですが、私はこれまで、「そろばん経験者が大学受験で有利というのは幻想」と考えていました。他の人が10秒かかる計算を2秒でできたところではかかっている、大学入試の数学ではもっと発想力のようなところで差がつく、と思っていたからです。

ところが最近、カイチのそろばん出身者の方から「大学受験の時に、そろばんをやっていたのが役立つ」と聞かされる機会が多く、「やはり小さい時にそろばんは大学入試で役立つのでは」と思うようになりました。

2人のそろばん卒業生

そのような話をしてくれた、カイチのそろばん卒業生をお2人、紹介させていただきます。

1人目は、兵頭虹香さん。カイチの今福教室でそろばんを習われていました。指導されていた高木塾長によると、「とに

かく真面目で、よく練習する。ここ一番で確実に得点を取る」という生徒だったそうです。

兵頭さんは、四天王寺高校から昨春、横浜国立大学に合格されました。エングマにも通っていただいていたのですが、センター試験(今の大学入学共通テスト)で思うような結果が出ない中、後期での逆転合格でした。数学で高得点を取れたことが合格につながったのではないかと思います。兵頭さんは、「そろばんで鍛えた暗算力で、見通しよく答案作成できた」と言われていました。

2人目は、中村武尊先生(カイチ予備校の講師をして下さっています)。カイチの古市教室でそろばんを習われていました。指導されていた奈穂子先生によると、「内なる闘志を秘め、競技大会では必ず結果を出す」という生徒だったそうです。

中村先生は、古市でそろばん、関目教室で高校受験の勉強をして、大手前高校から神戸大学に進学されています。中村先生は、「そろばん経験者は、数学で計算スペースが少なくすむのが断然有利」と言われていました。

そろばんのどこが役立つのか

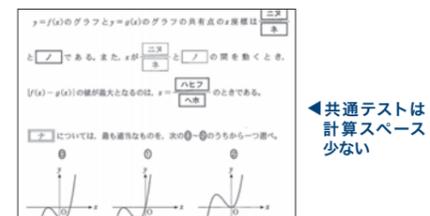
お2人だけでなく、多くのカイチのそろばん出身者から、同様の話を聞くことができます。みなさんの話を総合すると、大学受験の数学で、そろばんの経験が役立つのは間違いないようです。いったい、そろばん経験者はどういう面が有利なのか、下記①～⑤にまとめてみます。

①計算が速い

そろばんをしている子は計算が速い。これは

間違いないでしょう。ただ、これは150分程度の数学の試験時間の中で、数十秒のことですので、あまり大きな効果ではありません。むしろ、次の②から後が大きいと感じています。

②計算スペースが足りない



大学入試、特に共通テスト(以前はセンター試験と言っていたマーク式のテスト)は、実は「少ない計算スペースとの戦い」という側面があります。「2桁×2桁程度の計算で筆算なんかが必要ない」というのは、実は大きなアドバンテージなのです。

③思考のステップを簡略化できる

論理の展開を記述しないといけない記述式の問題では、思考のステップを答案に表現しなければなりません。他の人がA→B→C→D→Eという5ステップ必要なところ、計算が見通せる子がA→C→Eという具合に、テンポよく答案を記述できることがあります。

④なぜだか計算ミスに気づける

計算のできる人は、問題を解きながら「あ、ここでミスしたな」と気づけることがあります。このミスに気づける、というのもそろばん経験者の有利な点です。

試験に強い子になる

このように、そろばんの効果は色々あると思いますが、実は最も大きいのではないかと感じているのが、「試験に強い子になる」のではないかと思います。教室をみたことのある方なら理解できと思いますが、先生の「願ひましては」という声で全員のスイッチが入ります。

張りつめた空気の中で集中力をとぎすまず経験、単純な作業の中で自分を客観視する鍛錬、こういう経験を小さい時にしている子は強い。

塾長や川西先生が言われる専門用語「10ヶタの互い違い」が何を意味するのかわかりませんが、カイチのそろばん経験者が大学受験に立ち向かう姿を見ていると「頼もしい」と感じる毎日です。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

中学生学年別
夏の過ごし方のポイントJuly 2021
Vol. 106
毎月10日発行【本部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【エングマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

毎日暑い日が続きますが、いかがお過ごしですか。緊急事態宣言が解除され、クラブ活動が始まりました。学校では、期末テストも通常通り実施されています。いよいよ、学校生活が本格運転していく中で、今回は中学生のこの夏の過ごし方のポイントを学年ごとに書いていきたいと思います。

中1生はここからクラブ活動が本格化し、夏期講習も始まりますが体調に注意です。保護者の方は、秋になるまで、子供達の様子を注意深く見ていただけるようお願いします。

この時期は「ご飯が食べれない」「水分の取り過ぎで、下痢が止まらない」「ヘルペスが出る」など体調を崩してしまう生徒が出てきます。もし、「バテているな」と感じたら無理をさせないでください。これは精神的な問題ではなく体力的な問題です。

子供達の体格は小学生の頃とまだ大きく変化していません。個人差がありますが、多くの中1生が小学生の体力で、一回りも二回りも体格の大きい先輩たちのメニューについていかなければなりません。これが、夏を超えて秋口になると、体力が付き嘘のように、元気にクラブと勉強がこなせるようになります。

保護者の方の温かい声かけと見守りが、子供達にとっての一番の癒しです。今はそのような時期なのだぞと知っていただけるだけで、大きく違います。**中2**生の皆さんは、夏期講習でしっかり弱点単元の復習をしてください。学年ごとの受験出題割合は、中1が30%、中2が30%、中3が40%と言われています。今、中学2年生の1学期が終わったところですから中1から考えて、受験に出題される40%の学習が終わったところです。

「それなら、そんなに勉強しなくてもいいのでは」と考えてしまうかもしれませんが、2学期から始まる残り60%の学習内容は難易度が一気に上がります。現に、中2生の皆さんは、数学の連立方程式の応用あたりから、今学習中の一次関数までで、すごく難しくなると感じませんか。

中2の2学期から全教科の難易度が上がります。そして、これらの内容をきちんと理解するためには、今までの40%内容の定着が不可欠です。

入試においては40%。でも、これから先の60%の理解を支えるのがこの40%。基礎固めをするのはこの夏です。ここでしっかり頑張ることで、これからの実力の付き方が変わり、中3になった時には大きな違いとなります。こなすのではなく、身に付ける。そのような気持ちで夏期講習に挑んでください。

中3生の夏は受験の天王山。先月号のGROWINGにも書きましたが、10月・11月の実力テストで私立受験校が決定されることを考えると、残された時間は限られています。この夏、最高の成果を上げるための学習のコツを書いておきます。

【三者懇談会で目標設定を明確に】

7月の三者懇談会の目的は「現在の実力と目標校までのレベル差」を知ってもらうことです。中には、目標がはるか遠くに感じて「ぞっ」とする人もいるかもしれませんが、でも、そう感じるの目標校と自分との差を正しく把握できたからです。まず、「志望合格を見据え、自分に何がどれだけ足りないか」を認識する。そして、その差を埋めるために受験勉強に取り組む。人間は本気で取り組めば必ず変わります。先生達はそんな生徒をたくさん

見てきました。「志望校に合格するために夏期講習をやり抜く。」まず、三者懇談会を通してその覚悟を決めてください。

【時間の使い方は3分割】

夏期講習期間中の時間の使い方は、朝3時間・昼3時間・夜3時間と1日を3分割で考え勉強していきます。つまり、クラブのない人は講習会内容を含めて1日9時間勉強。午前中クラブのある人は、朝3時間はクラブ、昼の3時間は講習会、夜は自習室で3時間勉強。このように3分割で考えることで時間を効率的に使うことができます。

【休みを取る】

効果の高い学習をするために、休みを設定するのはとても大切です。台湾の天才IT相オードリー・タンはストップウォッチで時間を計り、25分働き5分休むというポロモード・テクニックを使い高い集中力を維持しているそうです。この際、1日ですべきことを書き出し、その中から「この25分はこれをする」とすべきことを明確にすると更に効果的です。

また、1週間日曜日は予備日として、できなかった時の埋め合わせ日とします。もし、月～土までしっかりやれたら日曜日は休み。3時間でできなかったら日曜日の午前中だけ勉強します。このように、自分で休みを設定すると、それを楽しみに頑張ることが出来ます。お盆など家族での予定がある場合も、それを思いっきり楽しめるように学習計画を立ててください。勉強する時は集中して勉強をする。遊ぶときは思いっきり遊ぶ。メリハリをつけることで、やる気と集中力を維持できます。

【目標を見える所に張る】

目標を見える所に張ることはパワフルです。部屋の勉強机の正面、筆箱の蓋の内側など目につくところならどこでも構いません。夏期講習では、どの教科にも「小テスト」があり合格点が取れるまで反復しなければなりません。例えば、英単語なら夏期講習中に1枚100問の英単語テストが10枚。計1000単語の小テストに合格しなければなりません。この時、目標が目先の小テスト合格になってしまうと、小テスト合格と共に単語を忘れてしまうような甘い勉強をしてしまいます。しかし、目標が志望校合格なら受験の時でも覚えていられるように徹底して覚えよう。夏勉強の一つ一つが志望校合格に繋がっている。そのような目的意識を持つためにも、目標を目につくところに張ってみてください。

【学校の宿題を疎かにしない】

夏期講習がハードで学校の夏休みの宿題が疎かになる生徒がいます。しかし、宿題は学校の先生が学力を上げるために考えて出しています。夏休みの宿題を丁寧に学習すれば確実に実力が付きます。しかも、その学習が9月の実力テスト対策になっているオマケつきです。塾の自習室に学校の宿題を持ってくるのは全く構いません。質問してくれるのもOKです。塾の夏期講習内容と学校の宿題を精一杯やる。それだけやれば受験生としては十分です。

以上、中学生の夏休みの過ごし方のポイントを学年別に書かせていただきました。この夏を実りある悔いの残らないものにするためにもみんな頑張らしましょう。先生達も精一杯サポートします。

カイチからの
お知らせ

■学習部は7月21日(水)～8月24日(火)は夏期講習期間となり、通常授業と指導曜日・時間が異なります。詳しくは夏期講習のお知らせに記載しております。
■7月19日(月)・20日(火)は小・中・高の診断テスト・実力診断テストを実施します。
■8月10日(火)～8月16日(月)は全コース休講日とさせていただきます。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

日々の子供達の成長を
実感しています!

坪田 陽一 (諸口教室)

先日体験授業を受けた方から「ここっていつからありましたっけ?」と聞かれ、諸口教室発足からもう10年が経過していることに改めて気づきました。

そのとき小学5年生だった生徒が、今や非常勤講師として活躍していたり、「就職決まりました」などと報告に来る…時が過ぎるのは早いものですね。

まずは珠算について。つい先日上級検定でしたが、諸口からは12名が受検しました。直前練習を少しのぞかせてもらいましたが、須田先生の開始の合図とともに一斉に置き始めるその姿はとても落ち着いていて、集中力が素晴らしかったです。ほとんどが長い間コツコツと通っている子で、弛まぬ努力で着実に力をつけてきている様子。まさに「継続は力なり」ですね。

一方で私の担当するパスカルキッズは、個別指導で、主に幼児～小学校低学年を対象としているため、色々なタイプの生徒がいます。とにかく「生徒との距離感」が難しい。近すぎては甘えてきて自分で考えようとしなくなるし、突き放しすぎるとやる気を失くしてしまう。立つ位置や声のかけ方、様々な工夫をすることで、生徒のやる気や集中力を上げていくことに毎回腐心しています。「今日は終わるの早い?」と生徒に言わせたら勝ちだと思っています。

どちらのコースでも思うことは、「子供は日々変化し成長する」という、至極当たり前のことです。長くこの仕事を続けていると、ついつい情性で「毎年同じ指導」「毎週同じ接し方」になってしまいがちですが、それではダメだと、いつも子供に教えます。

ちなみに珠算もパスカルキッズも、非常勤の先生に指導を手伝ってもらっていますが、どちらもカイチの卒業生。次にどうすればよいかよく分かっている、須田先生や私が気づかなかつたり手が回っていないようなところをフォローしてくれ、本当に助かっています。元教え子の成長を感じると同時に、先生である私自身も成長しなければ、と思わされます。

トーキングキッズは、パスカルキッズの教室の

隣でシルバ先生やカトリーナ先生が授業していますが、常に元気な声や音楽が聞こえてきます。英語で会話ができるようになるには、やはり積極性が重要。日本人特有の内向的な部分を変えていけるように、指導に工夫をしてくれているのだと感じます。カトリーナ先生曰く「諸口の生徒はみんないい子!」とのこと。(どの教室でも言っているかもしれませんが) 一生懸命授業に参加し、コミュニケーションをとろうとする姿勢を大絶賛でした。英検合格にはリスニングだけでなく文法部分の指導も重要ですが、そこは日本人の久保先生が一人一人に声をかけながら丁寧に指導してくれています。

学習部の小学4年生は、今年は過去最多の人数でスタートです。パスカルキッズからそのまま上がった子や新しくカイチに入塾した子ばかりなので、まずは集団での学習ルールを守らせることから。授業中は勝手にしゃべらない、席を立たない、宿題は忘れずにしてくる、漢字テストに向けてきちんと覚えてくる、不合格は居残り、テストは時間いっぱい使って見直しをする…。こちらが常識と思っていても、教えられていなければできません。最初は叱られることも多かったのですが、始まってから4カ月ほどたった今では、もう立派に「カイチの4年生」になってくれたかと思えます。

同じことが学習部の中学1年生についても言えます。新しく入塾した生徒の方が多く、まず「カイチとはどういう塾なのか」理解してもらい必要があります。そんじょそこの、生徒に媚びて敵しいことを何一つ言わないような、そんな甘い塾で



▲若手もベテランもみんなで力を合わせて頑張ります!

はないことを分かってもらわないといけません。非常勤の先生方は熱心ですが、年齢が近い分まだそこまで強く言えないことが多いので、自然と「おじさん」である私や高木先生の出番になるわけです。ついさっきまでバカなことを言って笑わせていたのが、急にお説教モードになったりするので、生徒もついてくるのが大変かと思いますが、ここできちんと「成績が伸びる教室」の雰囲気を作らなければ後で苦労することが目に見えていますので、妥協できません。

中学3年生はそういう意味では、もう「カイチはこういう塾だ」ということが分かっているので、指導は楽です。もちろん受験学年なので責任は重大ですし、手を抜くつもりも毛頭ありません。特に昨年度の公立入試については、不合格者が例年より多く、大変悔しい結果となりました。結果はどうあがいても変わりませんので、その反省をばねに前を向いて突き進むしかないと思っています。

コロナ禍の中、それでも大勢の地域の皆様からご支持をいただき、生徒数は過去最多を更新し続けております。たくさんお問い合わせをいただいていた嬉し反面、この地域の教育において「開智総合学院諸口教室」が大きな責任を負っていることを痛感させられます。そんな中、卒業生が大学生になって、非常勤講師として大勢戻ってきてくれている。中には岩崎先生のように社員として来てくれる生徒もいる。未熟な部分はあるけれど、一生懸命後輩達を指導してくれている。そういう姿を見ると、やってきたことは間違っていないと励まされます。

諸口教室が生徒達だけでなく、非常勤の先生方や皆にとっても良き学びの場であり続けられるよう、今後も努力を重ねていきたいと思いますので、温かく見守っていただければ幸いです。

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

いよいよ夏
TKサマーレッスンの季節です!

近久 賢治 (高殿教室)

入梅の頃となり、不安定な空模様が続いておりすがいかがお過ごしでしょうか。高殿教室の近久です。

この記事が世に出るころには夏のTK(トーキングキッズ)イベント第1弾であるフリーレッスンが始まっている頃でしょうか。現時点でたくさんの方々にご応募いただいております、TKチーム一同ドキドキワクワクしながらフリーレッスン準備しております。来月(7月末~8月)にはイベント第2弾であるサマーレッスンも始まります。今回はこのサマーレッスンについて書きたいと思っております。

TKサマーレッスンは全4回で、3回の授業と最終回は理科実験を行います。普段TKの授業を受けている方ももちろん参加できますので、奮ってご参加ください。「理科実験?英語で?」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、ご安心ください。過去のもので「膨らませた風船をオレンジの皮で割る」「マーブルチョコから虹を作る」といったお家でできる簡単なものから「自作のアイスクリームを作る」など本格的(?)なものまで様々です。(今年はコロナが心配ですので食物は扱いません)

今年の実験は「acidic(酸性)」「air pressure(気圧)」や「carbon dioxide(二酸化炭素)」など英検2級顔負けの英単語も少なからず出てきますが、日本人の先生が入り、その都度説明してくれるので安心です。実験の

内容は事前にTKの会議で模擬授業をしながらチェックしていますが、大成功してチーム全員が盛り上がり、失敗して机がビチャビチャになったり、カトリーナ先生のアクションだけが派手で、実験そのものは予想以上に地味なものなど、なかなかエキサイティングな会議となりました。(笑)今年の実験も楽しいものばかりですので是非楽しんでいただければ幸いです。

3回の授業では普段のTKの授業と同じ形式で、日本人講師によるライティング・リーディングクラスと外国人講師によるスピーキングクラスを1回の授業で行ってまいります。(英語ビギナークラスは外国人講師のスピーキングクラスのみです)

英検各級のクラスでは、各級に必須となる英単語や文法を、ゲームを交えながら勉強していきます。各授業は、日本人の先生で学んだ内容をそのまま外国人の先生の授業で話す、またはその逆で外国人の先生の授業で話した内容を改めて日本人の先生の授業で深く理解する、といった形です。ビギナークラスでは英語に親んでもらうために挨拶や道案内などの日常会話や、発音の練習、アルファベットのライティングを行います。

英検各級のクラスは1月の英検の取得という大目標があります。TKの先生達は英検の試験スキルや文法・語彙の習得は不可欠なもの、それを教えるだけにしてしまうと生徒達



▲日本人の先生と外国人の先生で力を合わせて指導します。

が英語を嫌いになってしまう、というジレンマと常に戦ってきました。日本人・外国人の先生どちらのクラスも退屈にならないように楽しく動きのある授業を行うようにTKチームは日夜知恵を絞っては新しいアクティビティを考えています。今回のサマーレッスンでやるような英語の歌やフラッシュカードや瞬間英作文など、自信をもって楽しいと言える授業になっていますので、こちらもご期待ください。

サマーレッスンの1ヵ月で子供達が「英語って楽しいなー、英検やってみようかな。」というようになり、さらには「自分にもできる」という自信をつけてもらえれば幸いです。是非ともよろしくお祈りいたします。



▲カトリーナ先生、地味な実験に必死に取り組む!



▲シルバ先生のボルケイノ実験



▲続きは動画で!

